

気候の安定化及びアフリカの水開発に貢献する対マリ支援（＝平成21年度対マリ環境プログラム無償資金協力「気候変動による自然災害対処能力向上計画」の第二陣の機材引渡し式）

9月14日、バマコ市内太陽光エネルギー地域センターにおいて、平成21年度対マリ環境プログラム無償資金協力「気候変動による自然災害対処能力向上計画」の第二陣の機材（＝井戸掘削機4台）の引渡式が開催されました。式典には当館黒木大輔大使、アルフセイニ・エネルギー・水大臣をはじめ日・マリ双方から多数の関係者が出席し、現地メディアによる取材が行われました。式典では、黒木大使及びアルフセイニ・エネルギー・水大臣がそれぞれ次のようなスピーチを行うと共に、鍵の授与並びに機材のデモンストレーションが行われました。

◎黒木大使＝「今般、日本の製造・加工業の技術の結晶である日本製の井戸掘削機を引き渡すことができ大変嬉しく思う。水の自然災害も多い日本は多くの知見を有すると共に、世界中で水分野の積極的な支援を実施してきた。是非、機材のメンテナンスをしっかりと行い、有効且つ持続的に活用して頂きたい。」

◎アルフセイニ大臣＝「気候変動の影響によりマリでは年々給水事情が深刻になっているため、今回の機材供与は時宜得ており大変ありがたい。マリ国民が直接裨益できる本案件はマリ給水問題に対する日本の連帯の現れであり、両国の友好関係がますます強化されるであろう。」

本案件で供与されたのは、以下の日本製の機材です。これらの機材は、気候変動の影響を受けるマリで、人々の安全な水へのアクセスを向上させるために活用されます。

- ・井戸掘削機（400メートル）1台
- ・井戸掘削コンプレッサー（400メートル）1台
- ・井戸掘削機（150メートル）1台
- ・井戸掘削コンプレッサー（150メートル）1台



スピーチをする黒木大使



鍵を授与し握手をする黒木大使とアルフセイニ大臣



供与された機材（正面）



供与された機材（背面）



井戸掘削中の機材



井戸掘削中の機材